

| 講義名 | eラーニング (時間) | スクーリング (時間) | 講師(敬称略) |
|---|----------------|----------------|--|
| 講座名【医療・保健・福祉をめぐる社会動向】 | | | |
| 我が国における医療・保健・福祉サービスの需要と供給について、基礎データから臨床に関する諸問題を解説し、医療的、福祉的、経済学的見地から、そのしくみを学ぶ。 | | | |
| 医療・介護制度の動向 | 3 | | 川越 雅弘(埼玉県立大学大学院 保健医療福祉学研究所) (兼 研究開発センター) |
| 地域ケアにおけるサービス供給の課題 | 2 | | 備酒 伸彦(神戸学院大学 総合リハビリテーション学部) |
| 社会福祉行政のあり方 | 3 | | 高森 聖人(一般社団法人虹色・大分県作業療法協会) |
| 医療経済学 | 5 | | 近藤 真司(大阪公立大学大学院 経済学研究科) |
| 講座(計) | 13 | — | |
| 講座名【地域ケアにおけるICT活用とリテラシー】 | | | |
| 地域包括ケアを推進する上で情報技術の活用が推奨されている。その効果を適切に享受するために必要なICT知識と情報倫理について学ぶ。 | | | |
| セキュリティの基本 | 5 | | 宮本 貴朗(大阪公立大学大学院 情報学研究科) |
| ICTのヘルスケアへの活用 | 3 | | 菅野 正嗣(大阪公立大学大学院 情報学研究科) |
| 医療倫理と情報活用 | 3 | | 紀平 知樹(兵庫県立大学 看護学部) |
| ポストコロナにおけるリハ職の役割 | 1 | | 北風 晴司(前:日本電気株式会社 医療ソリューション事業部) (現:エヌウインド) |
| 在宅ケアにおけるICTと社会資源の活用 | | 2 | 大濱 江美子(大阪市立総合医療センター) |
| 講座(計) | 12 | 2 | |
| 講座名【組織マネジメント】 | | | |
| 組織やプロジェクトグループのマネジメントスキルに関する理論と実践について学ぶ。 | | | |
| 組織のマネジメント | 3 | | 澤田 辰徳(東京工科大学 医療保健学部) |
| 起業の組織マネジメント | 3 | | 谷 隆博(株式会社かなえるリンク) |
| システム思考で業務姿勢の振り返りを | 1 | | 辻 洋(大阪府立大学名誉教授) (元:大阪府立大学学長) |
| プロジェクトを成功に導くためのリーダーシップ | | 4 | 広瀬 正(大阪公立大学) |
| 総合演習 | | 2 | 樋口 由美・淵岡 聡・横井 賀津志・上田 将也 (大阪公立大学大学院 リハビリテーション学研究所) |
| 講座(計) | 7 | 6 | |
| 講座名【社会資源の活用_基礎】 | | | |
| 地域で患者や高齢者、障害者が活用しうる社会資源及び、関係機関・組織との連携に関する理論・基礎知識を学ぶ。 | | | |
| 地域福祉の理論 | 3 | | 東根 ちよ(大阪公立大学大学院 現代システム科学研究科) |
| 障害者支援の社会資源 | 3 | | 田垣 正晋(大阪公立大学大学院 現代システム科学研究科) |
| 在宅医療体制の整備とソーシャルアクション | 4 | | 山中 京子(コラボレーション実践研究所・大阪府立大学名誉教授) |
| ソーシャルキャピタルの活用 | 1 | | 横井 賀津志(大阪公立大学大学院 リハビリテーション学研究所) |
| 障害者スポーツと社会参加 | 2 | | 片岡 正教(大阪公立大学大学院 リハビリテーション学研究所) |
| 講座(計) | 13 | — | |
| 講座名【社会資源の活用_実践】 | | | |
| 地域で患者や高齢者、障害者が活用しうる社会資源の活用方法を知り、関係機関・組織との連携方法について学ぶ。 | | | |
| 行政機関・組織との連携について | 4 | | 逢坂 伸子(大東市保健医療部高齢介護室) |
| 認知症の人を支える地域づくり | 3 | | 梅本 政隆(元:大牟田市保健福祉部健康福祉推進室) (現:株式会社地域創生Coデザイン研究所) |
| 地域で精神障害者を支えるために | 4 | | 三家 英明(医療法人三家クリニック) |
| 自助・互助の枠組みづくり | 1 | | 高畑 進一(京都橘大学 健康科学部・大阪府立大学名誉教授) |
| 自助グループ、ボランティアとの連携 | 1 | | 河合 晶子(三重県こころの健康センター) |
| 講座(計) | 13 | — | |

| 講義名 | eラーニング (時間) | スクーリング (時間) | 講師(敬称略) |
|--|----------------|----------------|--|
| 講座名【在宅医療・人生の最終段階における医療】 | | | |
| 在宅医療・人生の最終段階における医療における医療従事者のあり方を学び、かかりつけ医とメディカルスタッフとの連携、リハビリ専門職の役割について考える。 | | | |
| ものがたりの街と地域医療 | | 2 | 佐藤 伸彦(医療法人社団ナラティブホーム ものがたり診療所) |
| 在宅医療の実際 | 3 | | 白山 宏人(医療法人拓海会 大阪北ホームケアクリニック) |
| 終末期がん患者の看取りケア(理論) | 3 | | 岡本 双美子(大阪公立大学大学院 看護学研究科) |
| 在宅ターミナルケアの実際 | | 2 | 稲葉 典子(西宮協立訪問看護センター) |
| 総合演習 | | 2 | 樋口 由美・淵岡 聡・横井 賀津志・上田 将也 (大阪公立大学大学院 リハビリテーション学研究科) |
| 講座(計) | 6 | 6 | |
| 講座名【在宅ケアにおける予後予測】 | | | |
| 在宅療養する難病患者、障害児・者、要介護高齢者の機能的予後に関する知識を深め、適切な予後予測に基づく対処方法について学ぶ。 | | | |
| 内科領域における予後予測 | 3 | | 今城 保定(医療法人今城クリニック) |
| 精神科領域における予後予測 | 4 | | 関 晋太郎(医療法人三家クリニック みつや訪問看護ステーション) |
| 理学療法学視点と介護予防 | 3 | | 吉良 健司(在宅リハビリ研究所・株式会社らいさす) |
| 作業療法学視点と難病支援 | 3 | | 小林 貴代(森ノ宮医療大学 総合リハビリテーション学部) |
| 急性期病院からの退院後支援 | 1 | | 上田 哲也(大阪公立大学大学院 リハビリテーション学研究科) |
| 講座(計) | 14 | — | |
| 講座名【訪問リハとリスクマネジメント】 | | | |
| 多様化する訪問リハビリテーションを行う上での医学的、对人的、労働環境的リスクと、その対応方法について実践的事例を通じて学ぶ。 | | | |
| 在宅看護学における患者・家族への関わり方(基礎) | 2 | | 松下 由美子(甲南女子大学 看護学研究科) |
| 医学的リスクマネジメント | 3 | | 川見 清豪(リハビリ訪問看護ステーションファミリア) |
| 対人関連のリスクマネジメント | 2 | | 藤堂 恵美子(医療法人マックスール 巽病院訪問看護ステーション) |
| 訪問リハビリテーションの実践事例(身体障害領域) | 3 | | 関本 充史(かなえるリハビリ訪問看護ステーション) |
| 訪問リハビリテーションの実践事例(精神障害領域) | 3 | | 関 晋太郎(医療法人三家クリニック みつや訪問看護ステーション) |
| 講座(計) | 13 | — | |
| 講座名【生活期の疾病理解】 | | | |
| 生活期と呼称される疾病の維持期、在宅療養における病態の理解を深める。 | | | |
| 認知症の理解と対応(在宅、若年) | 3 | | 沖田 裕子(NPO法人認知症の人とみんなのサポートセンター) |
| 認知症の理解と対応(施設、高齢者) | 3 | | 田中 寛之(大阪公立大学大学院 リハビリテーション学研究科) |
| 運動機能の加齢変化 | 3 | | 樋口 由美(大阪公立大学大学院 リハビリテーション学研究科) |
| | | | 岩田 晃(大阪公立大学大学院 リハビリテーション学研究科) |
| 栄養状態、摂取の加齢変化 | 2 | | 大関 知子(大阪公立大学大学院 生活科学研究科) |
| 発達障害のある子どもの理解、対応 | 3 | | 立山 清美(大阪公立大学大学院 リハビリテーション学研究科) |
| | | | 中岡 和代(大阪公立大学大学院 リハビリテーション学研究科) |
| 脳性麻痺児・者の理解、対応 | 1 | | 米津 亮(東京家政大学 健康科学部) |
| 講座(計) | 15 | — | |